

取扱説明書

エアソフトガン サンダーボルト-S

THUNDERBOLTS

BOLT-O-MATIC TARGET RIFLE

BB



改造、変造又は本体機関部の分解、弾丸の加工等
によって生じた故障や事故については、メーカー
は一切その責任を負いません。本説明書を良く
読んでから御使用下さい。

仕様

構造：連発式、ストレートプルアクション着脱式
材質：主要構成部品はすべて強化プラスチック
全長：820mm
銃身長：270mm
重量：1.6kg
口径：6mm φ
照準方法：固定式オープンサイト(別売りのスコープを取り付ける事も出来ます)
装弾数：12発
弾丸：6mm φ BB弾使用(プラスチック)

セット内容

(1)本体一個 (2)マガジン一個 (3)弾丸2箱200発 (4)愛用者カード1枚
(5)必読書1枚 (6)取扱い説明書1枚 (7)的紙5枚

特 長

サンダーボルトSは従来のサンダーボルトスペシャルの機能をさらに改良したBOLT-O-MATICシリーズ エアーソフトガンです。サンダーボルトSの設計方針は従来の1発装填方式から12連発方式へと速射機能を持たせ、サンダーボルトスペシャル同様「ターゲットライフルの生命である命中率を絶対条件として主要構成部品には一切金属を用いず、安全なプラスチックを素材としながらも「耐久力」と「精度」を追求しました。又、着脱式ストック等の採用により標的射撃ゲームの範囲内で自由に遊びを発展させられる様企画致しました。したがってサンダーボルトSはアクション好みのメカ派向けと言えるでしょう。サンダーボルトSの大きな特徴は軍用狙撃銃を連想させるメカニカルなデザインとダイナミックな着脱方式にあります。これはゲームに次の様な変化を与えるために採用されたものです。

サンダーボルトSは5ヶの部品で構成され、簡単に取りはずしが出来、その組み合わせによって色々な射撃スタイルが選べます。極端にむづかしい技術を必要としない射撃法から高度の訓練を要する射ち方まで、順に挙げれば次の様なランクになります。

- ①ライフル式射撃スタイル：スコープをつけた精密照準(スコープ別売)
- ②ライフル式射撃スタイル：固定照門による照準
- ③ピストル式射撃スタイル：ツーハンドホールド(ストックを使用せず両手で銃を支持する。)
- ④ピストル式射撃スタイル：シングルハンドホールド(ストックを使用せず片手で射撃)
- ⑤ピストル式射撃スタイル：シングルハンドホールド(ストック・照星をはずし照準器にたよらずカンで命中させる)……等

この他にも、バランスウエイトやスコープの組合せによって種々の射撃方法に挑戦することが可能です。

この様に正式の標的射撃のルールに準じた射撃から、変則的な射撃法まで競技者の技術に合わせてゲームに変化を与えることが出来るのがサンダーボルトSの大きな特徴です。

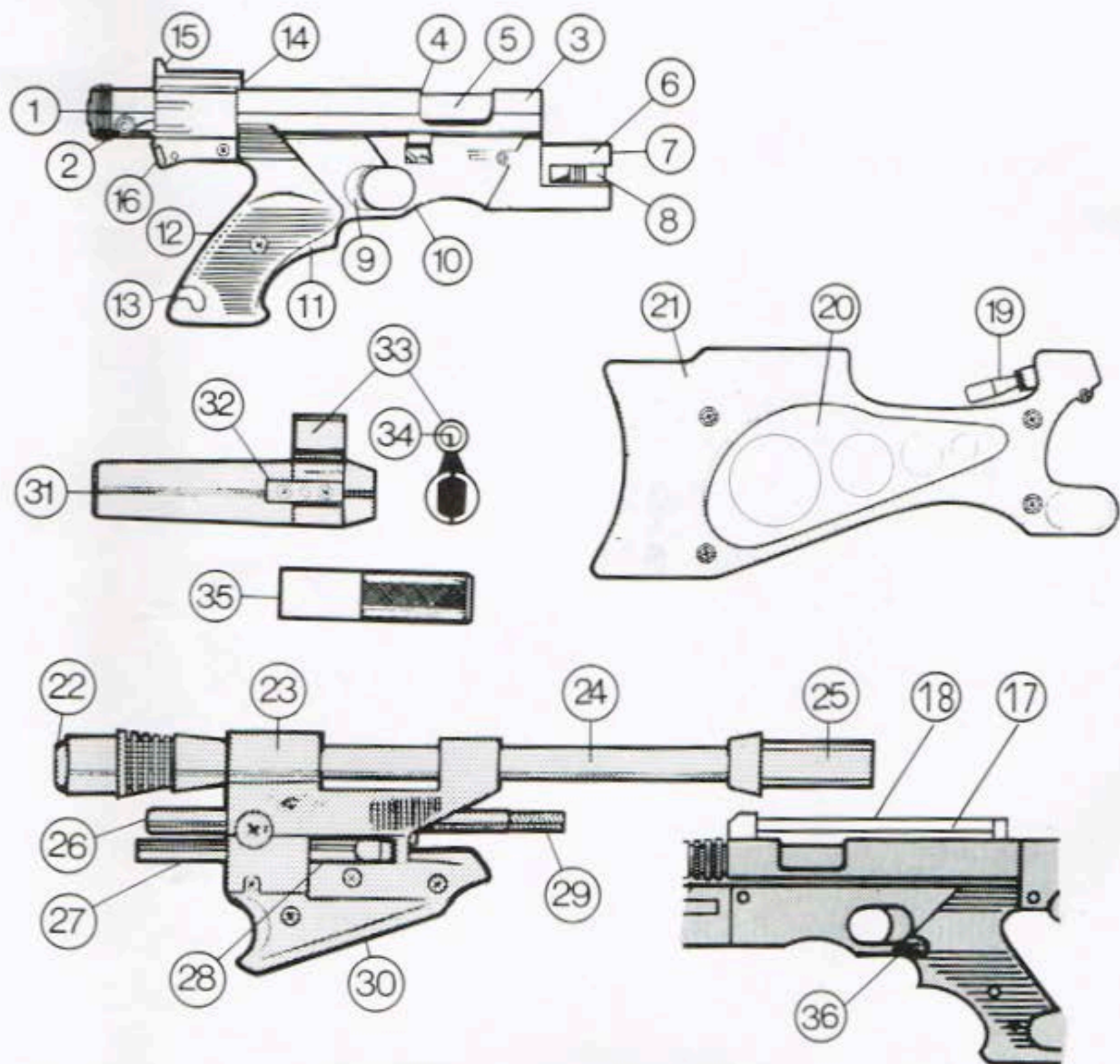
なお、材質面に於るサンダーボルトの新しい特長はプラスチック製としては最高の精度と強度を誇るCUREX(キューレックス)銃身の採用にあります。精度は金属銃身に勝るとも劣らぬもので、少々の衝撃で折れたり曲ったりすることはなく、耐熱性も高いのでたとえ長時間日光の直射にあっても変形致しません。

射撃マナーについて

サンダーボルトSを取扱われる際は、安全な銃であることを過信せず、本物の銃を取扱うのと同じ気持で、次に挙げる射撃マナーをお守り下さる様お願い致します。

- ①銃は弾丸が装填されているいないに拘らず絶対に人に向けない。
- ②銃を手にした時は常に銃口を上、下、又は標的に向ける。
- ③発射しようとする時は弾丸の飛ぶ方向に人が居ないことを確める。
- ④安全装置を解除するのは常に標的に向って射撃姿勢をとってからと心得て下さい。
- ⑤固い物を標的にしたり、又バックに使用しないこと。弾丸が思わぬ方向に跳ね返ります。(電球・蛍光灯などこわれやすいものの近くでゲームを行わないで下さい。)
- ⑥銃を使わぬ時は常に銃身を取りはずして弾丸を抜いて置く。(使用前後には分解された銃身部を明るい方向に向けてのぞき、弾丸が装填されていないことを確認する。)
- ⑦銃を持ち運ぶ時は二つに機関部と銃身を取りはずしてケースに入れて下さい。

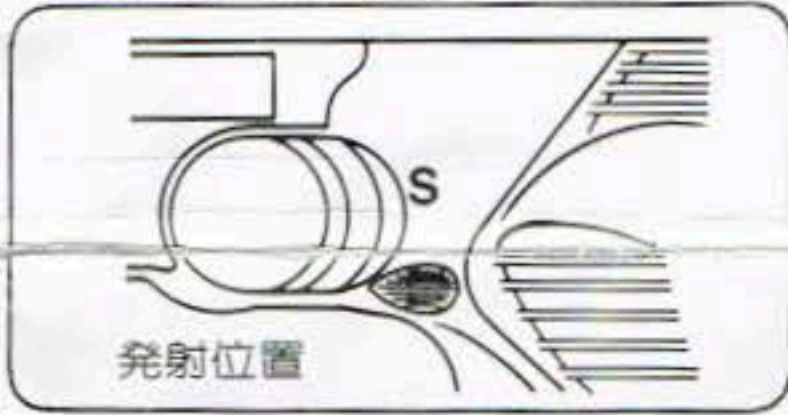
各部名称



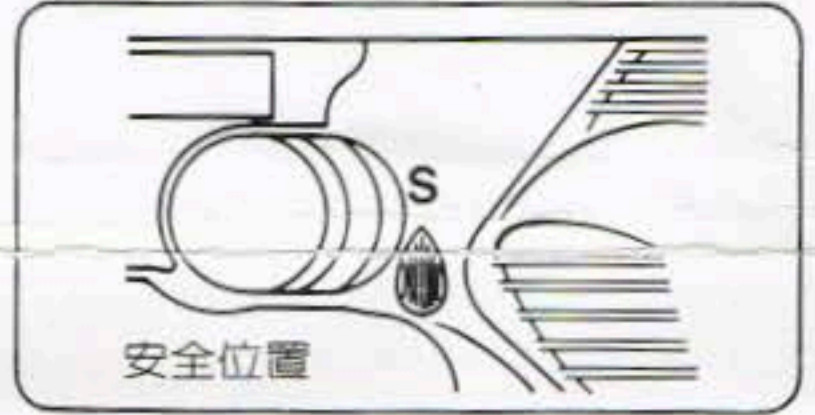
- ① シリンダーキャップ
- ② ボルト(左右)
- ③ シリンダーガイド
- ④ 装弾ゲート
- ⑤ シリンダー
- ⑥ 本体結合部
- ⑦ 結合用ガイド孔
- ⑧ 結合用レール
- ⑨ 引金
- ⑩ 用心鉄
- ⑪ センターフィンガーレスト(中指掛け)
- ⑫ グリップ
- ⑬ ストック固定ミソ
- ⑭ スコープ台
- ⑮ 照門(固定式・谷型)
- ⑯ ストック固定ベース
- ⑰ マガジン
- ⑱ スプリングストッパー
- ⑲ ストック固定ネジ
- ⑳ ストック・プレート
- ㉑ ストック
- ㉒ 弾込パッキン
- ㉓ 銃身サポート
- ㉔ 銃身
- ㉕ 銃口(エクステンション固定部)
- ㉖ 結合用ガイド棒
- ㉗ 結合用フック
- ㉘ 分解用リリースボタン(左・右)
- ㉙ バランスウェイト取付部
- ㉚ 先台
- ㉛ エクステンション
- ㉜ ベアリングカバー
- ㉝ 照星フード
- ㉞ 照星(棒型)
- ㉟ バランスウェイト
- ㊱ 安全レバー

安全装置

○この位置で引金が引けます。



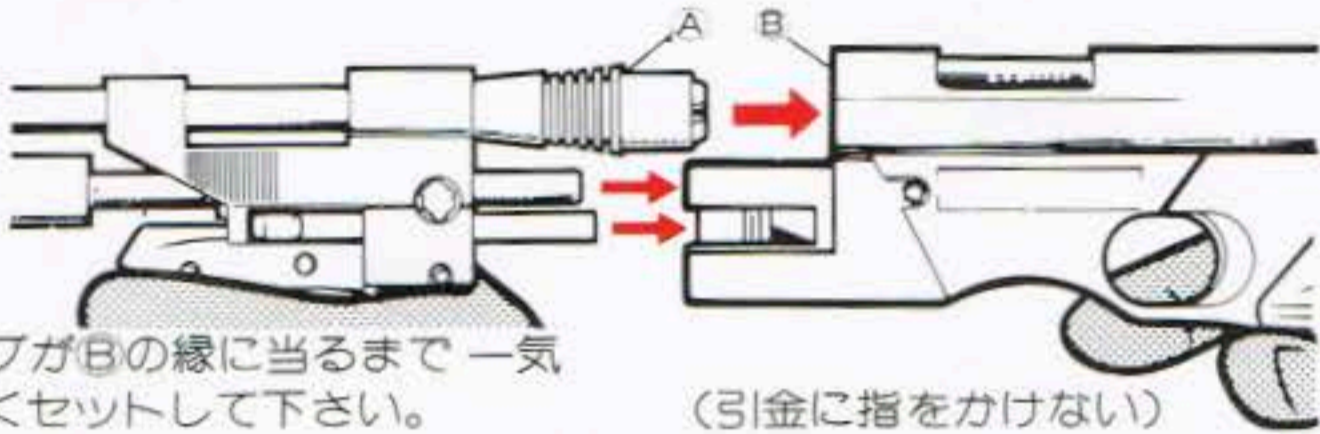
○この位置で引金が固定されます。



組立方法

①本体機関部に先台銃身部をとりつける。

取りはずす時はこのボタン(両側同時に)を押して真直ぐ引き抜いて下さい。

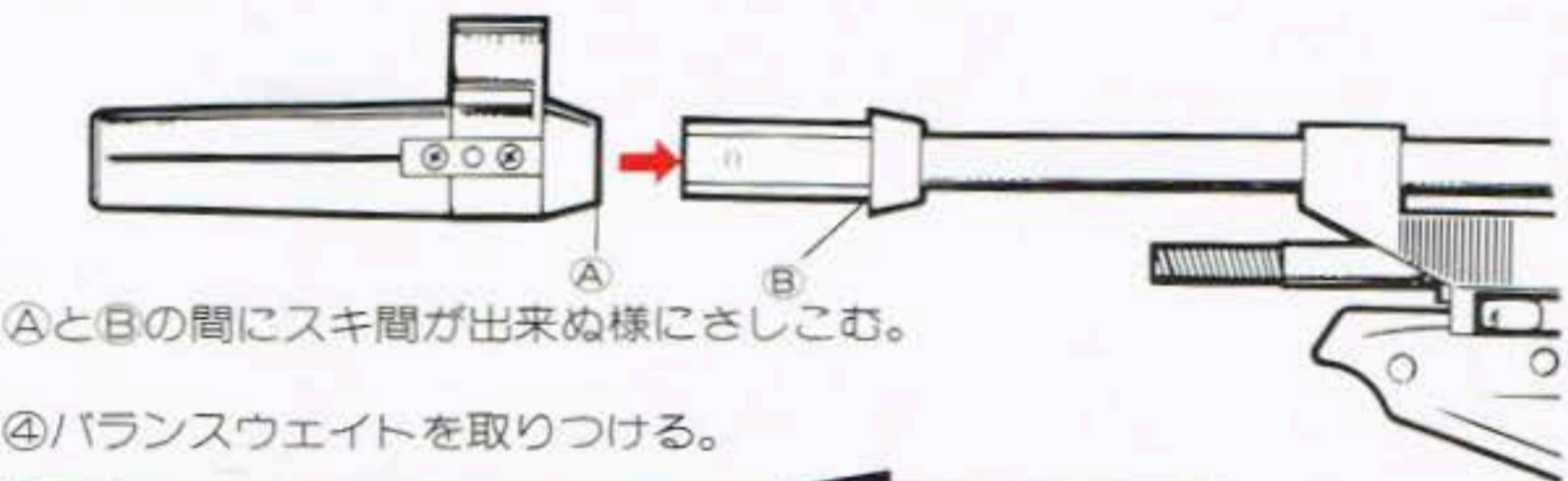


①のAのリブがBの縁に当るまで一気に力強くセットして下さい。

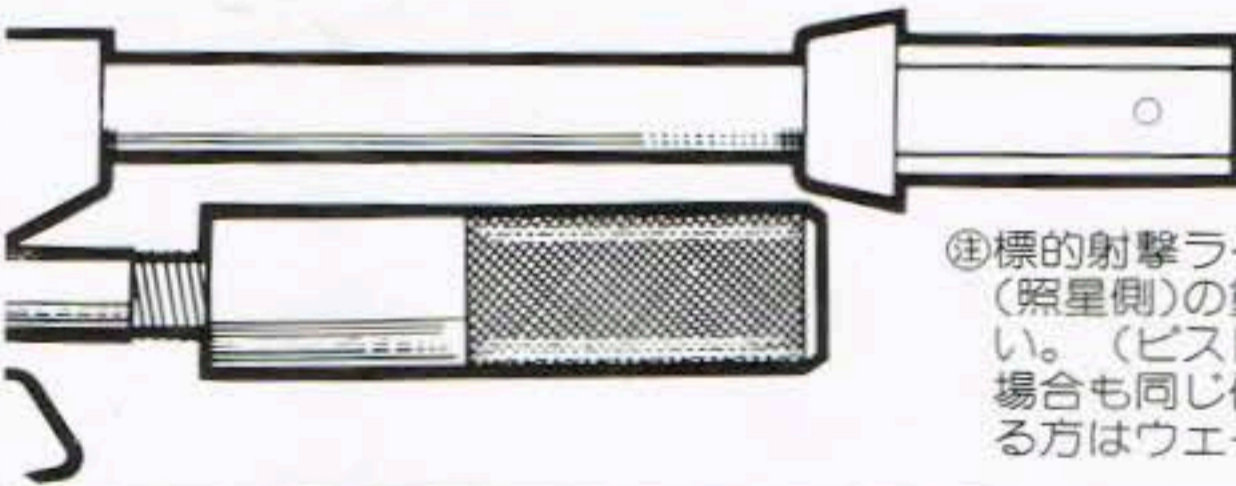
②本体機関部にストックをとりつける。



③銃身先端にエクステンションをとりつける。



④バランスウェイトを取りつける。



⑤標的射撃ライフルは特に先端部(照星側)の重い方が照準しやすい。(ピストル式に片手で射つ場合も同じ但し重過ぎると感じる方はウェイトをはずして下さい)

完全組立図(サンダーボルト)



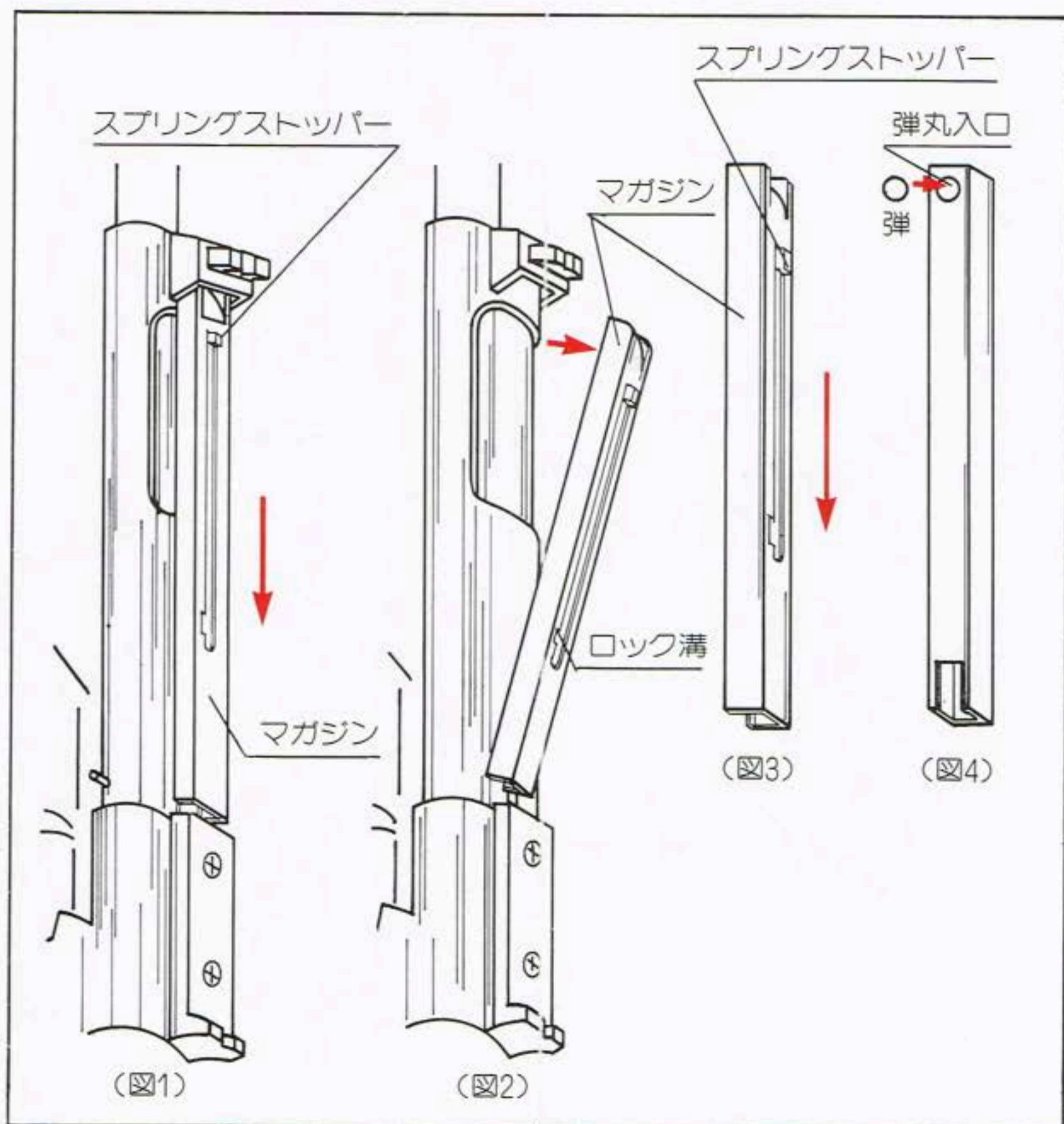
専用以外のスコープを取付けることも可能です。

発射方法

シリンダー後部に指をかけ後方に引いて下さい。“カチツ”と音がしたあと指を離して下さい。シリンダーガイドだけ元の位置に戻ります。(完全に元の位置に戻ったかを確認の為、手で押し込んで下さい) その後安全装置をSからFにセットして下さい。発射準備完了です。



マガジンの扱い方



- ① 本体上部のマガジンを後方(矢印)に引いて取りはずしません(図1、図2)。
- ② マガジンの上にあるスプリングストッパーを後方に引きロックします。(図3)
- ③ 弾丸をマガジン裏側の入口から一個ずつ入れて下さい。(12発入ります)(図4)
- ④ マガジンを本体に取り付ける場合は本体を縦にしてマガジンの後方を先に差し込みセットして下さい。
- ⑤ 完全にセットしてから図3のスプリングストッパーをはずして下さい。

射撃姿勢

サンダーボルトはライフルとピストル両方の使用が出来る構造になって居ます。それぞれの基本姿勢は次の通りです。

①ライフルスタイル

最も一般的でしかも一番むづかしいのが立射です。基本的には次の2つの姿勢に大別されます。

① 軍用や狩猟ライフルの射撃にみられるオフハンド姿勢



② 反動の小さい小口径ライフルの射撃に広く採用されているヒップレスト姿勢。



サンダーボルトに於いて①②それぞれの場合の左手の使い方は次の通りです。

①の場合



例(1)：先台を左手のひらで下から支える。肩の方向へ軽く押しつける。



例(2)親指と人差指のつけ根を先台後部の曲面に当てて真直ぐ前方へ押す感じで支える。



例(3)：先台後部を軽く握り、人差指を先端に引掛ける。この場合も例(2)と同じく軽く前へ押す感じ。

②の場合



例(1)：左の手のひらに本体をのせる。



例(2)：左手で右拳をつかむ。

②ピストルスタイル

①シングルハンドホールド(片手射ち)

ストックをはずして片手でグリップを握る。照門と照星で照準しますが、馴れれば照星をはずして、カンで射撃する方法をトライしてみてください。練習すれば5メートルの距離で直径10センチメートルの的ならば照準器なしで命中させることは簡単です。

⑧ ツーハンドホールド(両手射ち)

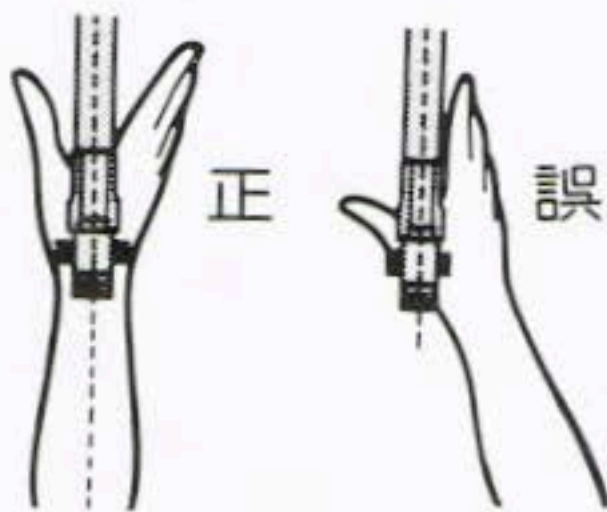
映画やテレビでおなじみのピストルのグリップを両手で握って射つスタイルです。しかし、サンダーボルトSはこの両手射ち以外にもっと安定した特殊なスタイルが可能です。即ち、左腕を真直ぐのばして左手を先台に当て(立射Aの例②参照)グリップを握った右の拳を左腕の内側へ当てる。体の開き、足の位置はライフルの場合と同じです。



ピストル射撃の基本について

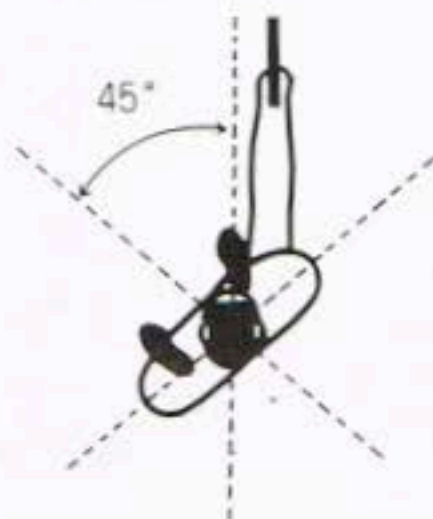
ライフル射撃の基本については、専門家による種々の解説書が市販されて居ますから、射撃についてなお詳しく研究されたい方にとって資料には困らないと思います。しかし、ピストル射撃は現在我国では特別選ばれた一部の人々を除いては全くその機会がありませんので、射撃方法についての参考書は一般に市販されて居りません。それ故、ピストル射撃の基本については以下の要領を御参考下さい。

① ピストルの握り方



銃と腕とが一直線になる様グリップを握る。

② スタンス



体は標的に対して45°開き、足は爪先をやや外に開いて立つ。かかととかかとの間は自分の靴一つ分又はそれよりやや広い位。この時銃を持たぬ方の手はポケットへ入れたり、ベルトへ指をひっかけたりして出来るだけリラックスさせて置く。

③狙い方

銃を上方に向けた準備姿勢では引金に指をかけず用心鉄にあてておく。標的に向って右腕を真直ぐ目の高さまでのばす。銃の移動は出来るだけ余分なコースをとらずスムーズに行う。この動作をしながら引金に指をかける。



註：標的に向って立った姿勢が正しいかどうかを自分でたしかめる方法。目をつぶったままで上記の順序をくりかえし標的と思われる方向を狙ってみる。そのままの姿勢で目を開けてみて、銃口が標的よりも右を指して居れば体の開きが足りない。左を指して居れば体が開き過ぎです。これによりスタンスを修正します。

④照準

(照準器の見方は後述の照準方法を参照して下さい。)

照門、照星、標的を見通すにはマスターアイ(註参照)を使うこと。目の焦点は照星を見ること。これはライフルの場合も同じですが、ただピストルの場合、次の様な特殊性があります。即ち、右利きの人でマスターアイが左眼の時、顔をやや右に傾けて左眼で照準することが出来ます。これはライフルでは真似の出来ない点です。

註：貴方のマスターアイの見つけ方、前方に何か目標をきめ、両眼を開いたまま右腕をのばして人差指をその目標に重ねます。そのまま交互に片眼をつぶってみます。右目だけ開いている時人差指が目標に重なったまま見えるのが左眼だけで見ると指が目標からはずれて見える場合、その人のマスターアイは右眼です。その反対の場合は左眼がマスターアイです。

⑤発射

腕をのばして照準し引金をしぼる迄少くとも7.8秒以内にとどめること、でないとう右腕の動揺が大きくなり、正しい照準が出来ません。照準が定らぬまま時間を経過した時は1度腕を休めて最初からやりなおすこと。

準備姿勢のままで二三回深呼吸し、最後の一息を半分吐き出したところで息を止め照準を完了してから引金をしぼるまでせいぜい3秒以内にとどめるのがコツです。

引金のしほり方

第1関節



引金

第1関節



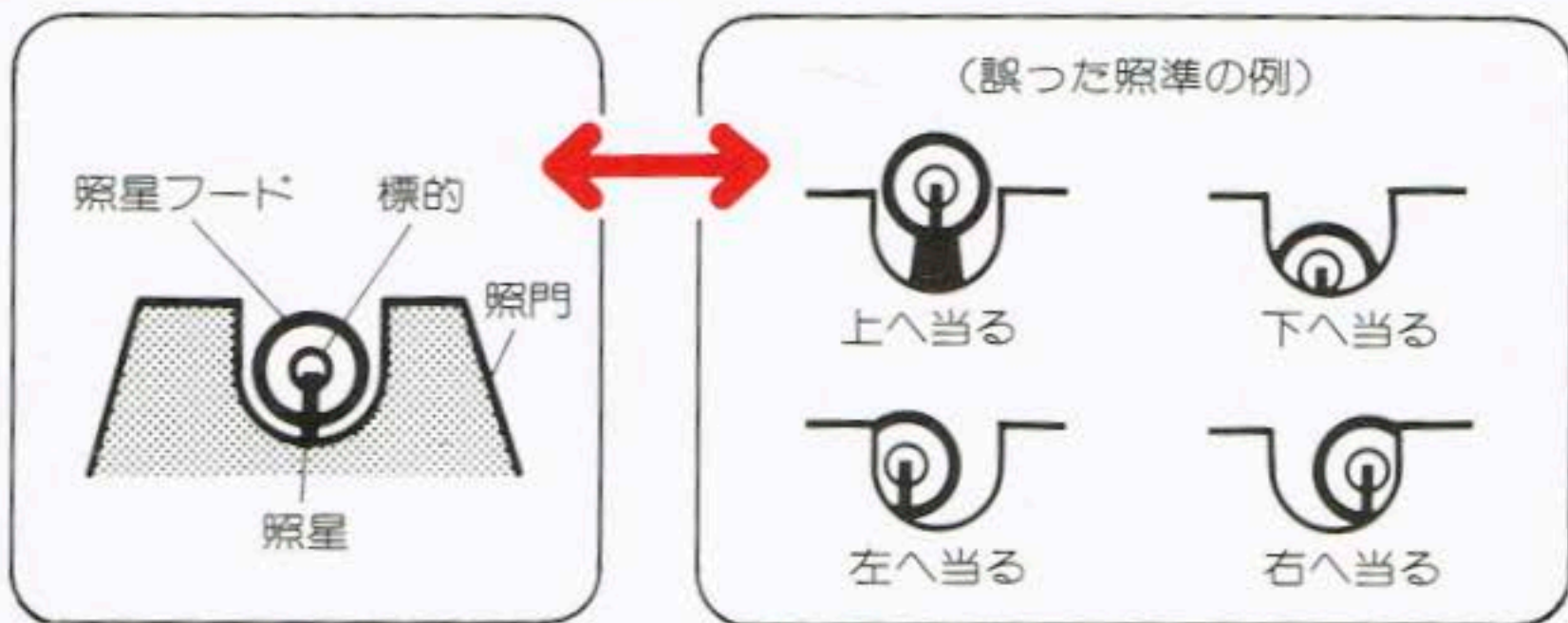
引金

人差指の先、又は第一関節を使う。急激に引かずゆっくりしぼる様に力を加えて行くこと。これは絶対忘れないで下さい。

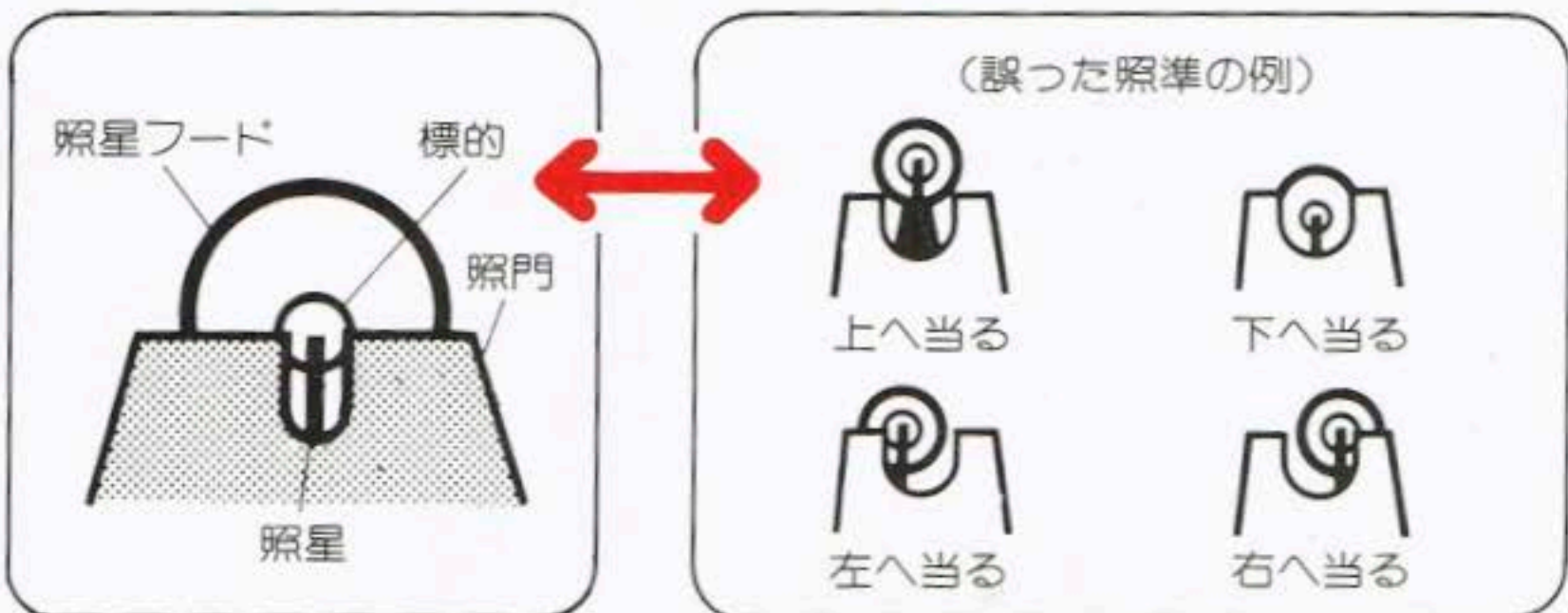
◎ピストル射撃はあまり過大に照準器を意識するより、野球のピッチングの要領でコントロールをマスターすれば、照準器が無くても命中率が得られるようになります。これはライフル射撃と一味違った面白さです。

照準方法

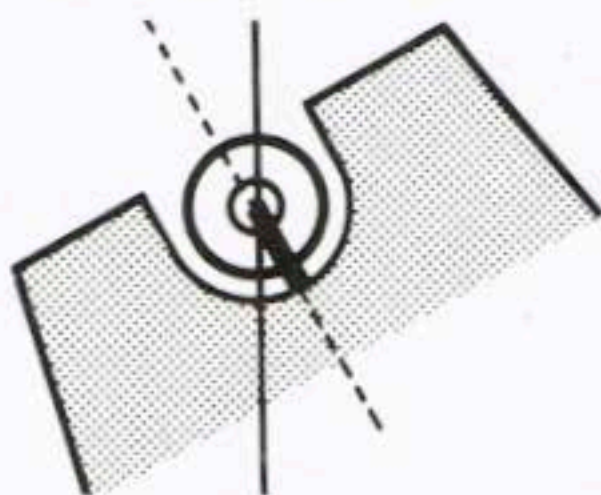
①ライフル射撃の場合（目と照門の距離は約10～11cmセンチ）



②ピストル射撃の場合（銃を持った手を真直ぐのばすこと）



- 照準器で正しく標的を捕えても銃が傾いていると命中しません。



命中率を上げるには

銃が破損して居らず、射撃姿勢、照準方法、射程距離が適正であるに拘わらず安定した命中率が得られぬ場合は、一度下記の各項をチェックして下さい。

①弾丸：弾丸が使い古されて傷ついたり、汚れが付着していませんか？専用弾はプラスチック製ですから、固い物に当れば変形することがあります。弾丸の形状が変化したものは不規則な空気抵抗により、弾道が曲ります。（足で踏まれてダ円に変形した弾丸は発射不能になります。）

②銃身：取りはずした銃身部を明るい方に向けてのぞいて下さい。銃口内が埃や油で汚れて居れば、弾丸のスピードが落ちて弾道は下がります。細い竹棒などの先に柔かい布をまいて掃除して下さい。

③射撃の場所：A風 サンダーボルトは、無風状態での屋内競技を前提に設計されています。これは風の影響により弾道が容易に変るからです。（横風を受ければ本物のライフルの弾丸でさえ弾道が狂います。）屋内といえども窓から風のはいる様な場所やクーラー、扇風機の影響を受ける場所は避けて下さい。

B光 理想的には標的側が明るく照明され、射手側が暗いのが最も適当です。逆光で標的を狙うのは非常に不利と心得て下さい。

安全についてのお願い

誤った使用方法又は銃の改造変造及び機関部の分解、弾丸の加工等によって生じた事故や故障について一切その責任を負いません。使用される前によく説明書を読んで御使用下さい。サンダーボルトSは銃のバランス調整上及びジョイント部補強の目的で一部に金属を使用していますが、主要部分はすべてプラスチックであることを忘れないで下さい。強度のかかる様な改造を行うと命中率が上るところか銃を破損します。

注意

- ①弾丸をより以上飛ばそうとしてメインスプリングを伸ばして使用したり、別の強いスプリングに取り替えたりしても効果はありません。プラスチックが主要な材料となっていますので、かえって引き金掛りを摩滅したり、要所のスプリングや部品に負担がかかり故障、又は、使用不能の原因になりますので絶対にしないで下さい。
- ②説明書や添付されている注意書等を良く読んで頂き正しい使い方で楽しく遊んで下さる様お願い致します。
- ③特に注油を要する箇所はありませんが、ジユンカツには粘りの少ない植物性オイル又はシリコン系オイルを御使用下さい。
銃の手入れには、植物油をしませた柔らかい布かシリコンクロスをお使い下さい。

「人や動物を絶対に射ってはいけません」

標的射撃は紳士のスポーツです。他のスポーツ同様、厳しくマナーを守ってゲームをお楽しみ下さい。周囲の状況を見失って他人の迷惑を考えずに標的射撃を行う事は公道で野球をするのと同様常識以前の問題です。サンダーボルトSが良識に欠けた取扱い方をされぬ様予防の意味で、ユーザーの年齢を「18才以上」と制限させて頂きました。御使用者各位もこの点十二分に御留意の上、18才未満の方にこの銃を貸したり、プレゼントされたり、なさらぬ様御協力をお願い致します。

「エアソフトガン サンダーボルトSを正しく使用して頂くために」

- (1)銃は弾丸が装填されているいないに拘わらず危険防止の為、絶対に人には向けないで下さい。
- (2)銃を手にした時は必ず銃口を上又は下に向ける事。
- (3)発射する時は周囲の状況や安全をよく確かめ、危険が無い事を確認した後、引き金を引いて下さい。
- (4)固い物を標的にする場合は、弾丸が思わぬ方向に跳ね返ります、注意して下さい。(電球や蛍光灯等こわれ易い物の近くでは絶対にゲームを行わない様にして下さい)
- (5)銃を使用しない時は危険防止の為、小さな子供達が手の届かない所に分割し保管して下さい。
- (6)本体の分解、改造、変造及び弾丸の加工は絶対にしないで下さい。(特に改造した商品について、破損した場合は修理出来ません)
- (7)マガジン、弾丸は必ず専用のもので使用して下さい。
- (8)人や動物、こわれ易い物は絶対に狙ったり、撃ったりしないで下さい。
- (9)銃を使用しない時は必ず分割し弾丸が入っていない事を確認して下さい。
- (10)銃を持ち運ぶ時は必ず本体を機関部と銃身を取りはずしてケースに入れて下さい。

※ 鋳物性のオイルは絶対に使用しないで下さい。(主要部、プラスチックの為、樹脂を浸食させ使用不能になります)



増田屋コーポレーション

郵便番号111 東京都台東区蔵前2-6-4
電話番号(03)861-0152(代)